～煌（きらめ）く海、瞳輝く、実りのまち～

# しょうどしま

町広報

企画・編集/小豆島町企画財政課
〒761-4388　香川県小豆郡小豆島町池田2100－4　TEL0879-75-1800　FAX0879-75-1500
http://www.town.shodoshima.lg.jp/　E-mail　olive-kikaku@town.shodoshima.lg.jp

2012年4月1日発行

No.73　4月号

## 「春の訪れ」

～三都半島に咲いたすももの花～


- 平成24年度施政方針 …… P2
- 町長の「八日目の蝉」記　セレクション …… P4
- 新たなまちづくりへ向けて …… P5
- 保健医療福祉関係職修学資金 …… P6
  24年度修学生募集
- 平成24・25年度後期高齢者医療　……P7
  保険料について
- 平成23年度教育委員会表彰 ……P8
- 狂犬病予防注射のお知らせとお願い…P12
- まちのわだい……P15
- くらしの情報……P16
- くらしのカレンダー……P17
- 小豆島を元気に！　私の提言……P18

平成24年度施政方針

# 小豆島の元気のために、未来にむけての島づくり

**平成24年第1回定例町議会が3月5日から23日まで開催され、5日の定例会冒頭で、塩田町長が町政運営に対する基本姿勢となる平成24年度施政に関する所信を表明しました。**
**今月号では、施政方針の概要をご紹介します。**
**なお、施政方針の全文は、別冊保存版として本紙に折り込んでいますので、ぜひ、お読みください。**

## （医療と福祉の充実）

小豆島が元気になる突破口は医療と福祉の充実だと思います。

その第一歩が、小豆島にある二つの病院の統合です。島で心筋梗塞、脳溢血などの急性期の疾病に対応できる水準の高い医療を確保できるようになることが、島民の安心だけでなく、島の魅力を高める上で不可欠です。

医療の水準の向上を図るとともに、福祉のあり方についても抜本的に見直し、人口減少と急速な少子高齢化に対応し、課題を克服したいと考えています。

地域福祉推進の基本的な考え方は次の四つです。

ひとつは、健康と地域福祉づくりは、行政だけで進めるものではなく、住民がそれぞれの役割を分担し、住民総参加で進める必要があることです。

ひとつは、介護保険などの「公助」を基盤にして、「自助」と「共助」で、健康と地域福祉づくりを進める必要があることです。

ひとつは、公立病院の再編を契機に、現病院施設も活かした健康と地域福祉づくりを進める必要があることです。

ひとつは、若者の働く場の創出を図るとともに、将来の医療費と介護費の負担軽減を目指す必要があることです。

障害者福祉については、障害者が地域で安心して暮らせるよう、ケアホーム設置に向けての取り組み、障害者の働く場を提供する新規事業所の誘致、重度障害者の島外通院に対する負担軽減、特別支援学校への通学の負担軽減などを実施します。

## （オリーブによる健康長寿の島づくり）

来年度から、新たなオリーブトップワンプロジェクトの取り組みとして、オリーブによる健康長寿の島づくりに本格的に取り組みます。

ひとつは、家庭・学校給食でのオリーブ料理の普及です。学校給食でのオリーブの全面的な活用です。家庭でのオリーブを活かした料理の普及徹底も食生活改善推進協議会の活動などを通して図りたいと思います。

ひとつは、小豆島の食材を活かした新たなオリーブ料理の開発です。小豆島高校の主催するオリーブ料理フェスティバルの開催、料理の専門家を招聘してのオリーブ料理講習会の開催などを行うこととしています。

ひとつは、生活習慣病の予防による健康・長寿を実現するための医学的な根拠に基づく取り組みです。

小中学生を対象に生活習慣病の子どもたちに、内海病院の医師にも参加してもらい、血液検査と食育教育を推進し、生活習慣病を予防・克服する取り組みをしたいと考えています。

ひとつは、オリーブを用いた料理によるオリーブ観光の推進です。オリーブレシピ本の作成、島内飲食店でのオリーブ料理の提供と推奨マークの導入を考えています。

## （子育ち応援）

24年度から一人ひとりのライフサイクルに応じて必要となる応援策を講じていこうと考えています。

妊娠・出産、誕生期です。妊婦にとって歯への負荷が大きく、妊婦の健康上の課題になっています。妊婦歯科検診を無料化することにしています。

子どもが急に熱を出したとき、病院に通院し、病時保育をしてもらおうとしても、急に仕事を休むことができないことがあります。参観日や通院を乳幼児連れではできないこともあります。そんなとき、自宅までの送迎や一時預かり、病（後）児保育につなげたり、施設で一時預かりをする家庭保育サポート事業を、子育て支援団体を立上げて実施することにしています。

子どもの個性、能力を伸ばす保育と教育を実現するために、関係機関と共同して子育ち応援講座を年間を通して実施し、小豆島での子育て・子育ちの質を高め

ていきたいと考えています。
親の経済負担を軽減するため第3子以降の保育料を免除します。

## （地場産業の活性化）

24年度予算では、研究関連機関や支援機関とのコーディネートのため、地域振興アドバイザー活動の充実、ニーズの認識やシーズ発掘のための食のマーケティング調査の実施、小豆島産品・観光の認知度アップのための特産品ＰＲ事業、商標登録等知的財産活用補助、業界の動向把握、ニーズ確認のための展示会出展補助、セミナー等研修会への参加支援などの予算を盛り込んでいます。

農林水産業に係わる新たな取り組みです。

まず、中山の棚田の保全についてです。

24年度においては、地元自治会、水利組合などの協力を得て、遊休地の木の切り倒し、ボランティア作業用具購入、集落での検討会を実施するほか、独立行政法人農村工学研究所に棚田保全の全体構想のたたき台を作ってもらい、これをもとに棚田の村・棚田公社を具体化していきたいと考えています。

次は、特色のある菊産地づくりです。花き栽培は、小豆島を代表する農産物です。赤色・黄色輪菊の周年化を目指して、新品種試験栽培、ビニールハウス等整備、予冷庫を設置して、小豆島の特色のある菊産地づくりを応援したいと考えています。

## （賑わいづくり）

来年再び瀬戸内国際芸術祭が開催されます。今度は、小豆島が大きな舞台になるだろうと思います。来年の芸術祭を目指して、地域の力を結集して、それぞれの地域の魅力を高めていきたいと考えています。

今年は、木下恵介監督生誕１００年の年です。生誕地である浜松市、松竹と協力して、生誕１００年プロジェクトである「ひとつ木の下プロジェクト」を行います。

24年度においては、映画村松竹座を改修し、「巨匠木下恵介展」を開催するほか、島田歌穂さんが大石先生を演じ、島の小学生が子役を演じるミュージカル「二十四の瞳」の全国公演、映画ロケ地である城山に石モニュメントを建立するなどを行うことにしています。

秋には大相撲小豆島巡業が予定されています。小豆島出身の琴勇輝の活躍は、子どもたちに夢を与えるとともに、島の活性化にも貢献しています。

## （新しい絆社会づくり）

地域の連帯と絆は、これからのキーワードです。医療や福祉の充実も、地域の連帯と絆があってこそ実現するものです。

ここでは、生涯学習を通したまちづくりによる新しい絆社会づくりをとりあげたいと思います。

地域のＮＰＯなどの活動を支援する協働のまちづくり支援事業を22年度から行い、いろいろな活動がはじまっていますが、24年度からは、青少年健全育成、スポーツ振興、文化芸術振興を切り離して、生涯学習のまちづくり支援事業として、より活性化を目指したいと考えています。

小豆島の文化財産の一つに住民が上演する「二十四の瞳」があります。来年の瀬戸内国際芸術祭に向けてＮＰＯ法人「二十四の瞳を21世紀に伝える会」が上演に向けての準備を開始しており、その支援を行うこととしています。

移住交流の推進も小豆島が元気になる上で必要不可欠です。

移住者のこれまでにない経験・知識、ネットワークを小豆島の地域おこしに活用する「地域おこし協力隊」の事業を行うこととしています。

## （インフラ整備）

24年度に香川県の補助も得て光ファイバ網を整備します。これによって、地場産業の新しい振興、遠隔医療の拡大など新しい医療システムの構築、知的な仕事をする人材の移住交流の推進、高齢者などの見守りなど、助け合いシステムの構築、災害に強いまちづくりが可能になります。

民設民営方式で光ファイバ網の整備をすることとしています。24年10月のサービス利用開始を目指します。

防災対策についても万全を期してまいりたいと考えています。

ハザードマップの整備、ＩＰ告知システムの導入、急傾斜地崩壊防止対策、蒲野大池の地震予防対策、小学校の耐震化などを行っていきます。

## （組織再編）

政策課題は、横断的であり、課の壁を越えて取り組む必要があります。

24年度から、地域振興、健康福祉、教育など、分野ごとの部を設け、横断的な取り組みと責任ある対応ができる体制にすることとしています。

課についても、健康づくり福祉課、高齢者福祉課、子育ち共育課など、課の目指す政策が明確になるものとしたいと考えています。

町長の

# 「八日目の蝉」記
## ――セレクション

## 『「八日目の蝉」日本アカデミー賞10冠』

日本アカデミー賞の授賞式がありました。「八日目の蝉」が作品賞、監督賞など10部門で最優秀賞を獲得しました。

このブログは、角田光代さんの「八日目の蝉」を読んだことに始まります。角田さんが書かれたような、小豆島の「海と、空と、雲と、光と、木と、花と、きれいものぜんぶ入った、広くて大きい景色」のことを、町長の３６５日を通して書いていこうと思ったのです。

そのころには成島出監督の「八日目の蝉」映画化の準備はもう随分と進んでいました。テレビ化よりも映画化の構想が先に進んでいました。映画化が発表されたとき、よかったと思いました。この映画の評価はいろいろありますが、私は、小豆島の本質的な価値を表現していただいたと思っています。

それは、「小豆島では、人々と、自然と、神様、幽霊までもが、同じ地平で一緒に暮らしている」という成島出監督の言葉に凝縮されています。なぜ、主人公の女性が、小豆島での生活のなかで、心の平穏を得、生き抜いていく強さを持ちえたのでしょうか。近代化や都市化、個人の自由を求めて、わずらわしいものとして、私たちが捨てさってきたもの、例えば、人と人の縁、ありふれた自然、神々との日常的なかかわりなどのなかで、人は人として生きていくことができる、これが映画「八日目の蝉」のテーマだと、私は思います。

成島監督はじめ映画の制作に携わったすべての皆さん、そして原作者角田光代さんに感謝します。角田さんは、小豆島には駆け足で見て回られ、凝縮した印象で小豆島を見事に描いていただきました。授賞式の会場で、角田さんが「案内をしてくれたタクシーの運転手さんが素晴らしくて」とおっしゃっていたそうです。

いろいろな糸がつながって、どこまでも広がっていっているようです。このブログも、どこまでも、いつまでも、糸をつないでいけたらと思います。

「八日目の蝉」ありがとう。

（3月3日掲載分から）

町長の「八日目の蝉」記は町ホームページに全文が掲載されています。

映画「八日目の蝉」の撮影風景

# 「島の食品のあれこれ」 Vol.15

## 「醤の郷(ひしおのさと)まつり記念 発酵食品研究所の所内の一般公開」

香川県産業技術センター発酵食品研究所
所長 末澤保彦

小豆警察署の隣にある「香川県産業技術センター発酵食品研究所」。発酵食品研究所の歴史は古く、明治38年に地元の小豆島醤油製造同業組合立の醸造試験場として創設され、明治40年に小豆郡立、その後県立に移管され、１００年以上醤油、佃煮、素麺、オリーブなどの小豆島の産業振興のお手伝いをしています。

昨年の一般公開では、大勢の方に醤油搾りなどを体験していただき、研究所を少しはわかっていただけたと思います。

そこで、今年も醤の郷まつり記念ということで、4月29日㈰の9時30分から15時まで発酵食品研究所内で新たなイベントを企画し、特別に公開します。

テーマは、「食と健康」で内容は、体験①小豆島醤油協同組合のご協力による全社の小豆島醤油が勢ぞろい（予定）しての味比べです。

体験②は、オリーブオイルの乾燥肌への有効性を調べた装置を使って、お肌の水分を測定する体験です。

体験③は、髪の毛の太さなどの電子顕微鏡を使った精密観察と測定で、目では見えない状態や微小な物を観察します。

以上のような内容を予定していますので、多くの皆さんのご来所をお待ちしています。

昨年の醤油搾り体験

――小豆島産業振興・環境技術会議――

新たな

# まちづくり へ向けて

## 「要介護者が安心できるサービスの提供を」

介護サービス課
課長 岡 秀安

小豆島町は、高齢者が住みなれた地域で暮らせるように、地域ぐるみの共助によるサービスができる仕組みを作ろうとしています。

そういう中で、介護サービス課（旧介護事業課）は要支援・要介護の認定をされた高齢者の方へ介護保険を使い公助によるサービスを提供する課です。

当課は、三事業を行っており、居宅介護支援事業は、要介護者が必要な介護サービスを受けることができるよう、介護サービス事業者や介護保険施設と連絡・調整を行い、ケアマネージャーがその人にあったケアプラン（居宅サービス計画）を作成する事業です。

訪問介護サービス事業は、介護が必要な高齢者や心身に障害のある要介護者の家にホームヘルパーが訪問して、身体介護や生活援助を行い、利用者がより充実した暮らしができるようサポートする事業です。

訪問看護サービス事業は、要支援者・要介護者および病気や障害を持った人が住み慣れた家庭で療養生活が送れるよう、医師の指示のもと看護師が自宅へ訪問して、療養や医療補助等のサービスを提供する事業です。

20年後、町の高齢化率は50％が予想され、今後、介護サービスの要求は徐々に増えると思われます。

当課が対応することは、まず、利用者が求める介護サービスを提供することになろうかと思います。それには、マンパワー（人的資源）の確保が必要です。現時点では、人事異動、募集等により、職員の確保はできていますが、サービスの増加数を見つつ早めの職員の確保が必要であります。

次に、職員の技術力の向上が求められます。それには、職員による資格取得、研修への参加、自己研鑽等をして、レベルアップをしていくことが必要です。

さらに、サービスの効率を上げるために、町関係課、他事業所、職員同士等が密な連携をしていくことが必要です。

多様化するニーズに応えるために、介護サービス向上を目指して、職員一丸となって対応して行こうと考えています。

介護サービスに対してご要望やご質問等がありましたら、お気軽にお問い合わせいただきたいと思います。

# 小豆島町オリジナルナンバープレートを全車種交付します

昨年12月から原動機付自転車（50cc以下）のみを対象にオリジナルナンバーを交付していますが、4月2日(月)からすべての車種に交付を行います。

**問い合わせ先**
税務課
☎82―7003

# 小豆地区消防本部からのお知らせ

消防本部では、平成23年度予算で、消防ポンプ車を更新しました。

このポンプ車には、最新鋭のCAFS（消火用の水に、圧縮空気と消火原液を混ぜて、発泡させる装置）を装備しています。この装置は、火災の態様に応じて、泡放射による消火活動で、従来の水だけの放射より効果的な消火が期待できることから、さまざまな火災現場での使用を考えています。

# 保健医療福祉関係職修学資金　24年度修学生募集

本町では、将来、町立施設や町の認めた病院施設等で保健医療福祉関係業務に従事しようとする方を対象に修学資金の貸し付けを行っています。

平成23年度から、子育て支援、少子化対策の一環として、保健医療関係職の対象職種を拡充するとともに、新たに福祉関係職を貸付対象としています。

対象職種、貸付金額など詳しくは次のとおりです。

**対象者**

平成24年4月現在、保健医療福祉関係職をめざす養成機関に在学中で、卒業後、町立施設および町の認めた病院・施設などでその業務に従事しようとする方。（ただし、小豆島町奨学資金貸付条例による貸し付けを受けている方は対象外となります。）

**対象職種**

医師、保健師、助産師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、視能訓練士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士

**貸付金額**

月額　50,000円（年額　600,000円）

ただし、香川県看護学生修学資金貸付条例などによる貸し付けを受けている場合は半額となります。

**返還の免除**

養成所等を卒業した後、1年以内に町立施設および町の認めた病院施設等に就職し、引き続き業務に従事した期間が5年に達したとき、修学資金の返還が免除されます。

**申込期間**

平成24年度は4月2日(月)から受付します。

申し込み用紙は、健康づくり福祉課または池田総合窓口センターに備えています。

**問い合わせ先**

健康づくり福祉課　☎82―7038

# 平成24年度の出張登録の日程について

香川運輸支局では、小豆島に出張して自動車の登録を行っており、平成24年度も次の日程で実施します。

**実施する業務**

登録自動車および小型二輪（251cc以上）の車両で、名義変更・住所変更・番号変更・新規登録・廃車等の業務

**申請の予約**

出張登録を申請する方は、実施日の2営業日（土日祝日を除く）前の午前中までに左記の予約先に電話で予約してください。

香川運輸支局登録部門ヘルプデスク

☎050-5540-2075

**実施日**

平成24年度

| | | | |
|---|---|---|---|
| 平成24年 | 4月11日(水) | 平成24年 | 10月24日(水) |
| | 5月9日(水) | | 11月14日(水) |
| | 6月6日(水) | | 12月12日(水) |
| | 7月11日(水) | 平成25年 | 1月9日(水) |
| | 8月8日(水) | | 2月13日(水) |
| | 9月12日(水) | | 3月13日(水) |

**実施場所**

小豆島出張検査場　土庄町甲5878―2（㈱安全モータース　☎62―2210）

**申請書受付時間**

10時30分～11時30分、13時～13時20分

**自動車税等の申告納付**

出張登録の申請時に自動車税・自動車取得税の申告および納税をすることになります。

**問い合わせ先**　香川運輸支局登録部門ヘルプデスク　☎050-5540-2075

香川県県税事務所（自動車税に関すること）　☎0877-881-3858

# 軽自動車税 身障減免申請の受付について

身体に障害がある方は、納期限（5月31日(木)）の7日前までに申請することにより、軽自動車税の減免を受けられる場合があります。対象になると思われる方は、5月24日(木)までに申請をお願いします。なお、前年に減免を受けた方には、事前にご案内します。

**必要書類**

身体障害者手帳、運転する方の運転免許証、申請者の認印、車検証

**申請先**

税務課　☎82―7003

池田総合窓口センター　税務・出納係　☎75―0555

# 小豆島町奨学資金制度が拡充されます

条例を改正し、制度の見直しを行っています。詳細が決定次第、広報でお知らせし奨学生の募集を行います。

詳しくは、学校教育課（☎82―7014）までお問い合わせください。

# 平成24・25年度
# 後期高齢者医療保険料について

◇保険料率

**均等割額47,200円、所得割率8.81%になります。**

★保険料の**上限額**が1人につき**50**万円から**55**万円に引き上げられます。

★所得の少ない方や被用者保険の被扶養者であった方に対する軽減措置も実施されます。

◇平成24年度後期高齢者医療保険料の納付方法

**1．保険料を2月の年金から天引きされた方（仮徴収対象者）**

4、6、8月の年金から、2月の年金から天引きされた金額と同額の保険料が天引きされます。

平成24年度の保険料額が確定後、10月以降の天引き分で残りの保険料額の調整が行われます。

**2．平成23年度の途中で資格を取得し、4月から新たに年金天引きができると判定された方（対象者には3月中旬頃に「特徴開始のお知らせ」を送付しています。）**

平成22年中の所得をもとに仮計算された保険料の1／6相当の額が4、6、8月の年金から天引きされます。

平成24年度の保険料額が確定後、10月以降の天引き分で残りの保険料額の調整が行われます。

**3．1，2以外の方（仮徴収対象外）**

平成24年7月に保険料額が確定後、7月より納付書または口座振替による納付が開始されます。その後、年金天引きに移行できる方につきましては、10月から天引きが開始されます。

**いつもは年金天引きとなっている方でも、平成24年2月の年金から天引きされていない方は、こちらに該当しますのでご注意ください。**

※保険料を年金天引きされている方で、口座振替による納付に変更を希望される方は、税務課までお申し出ください。

**問い合わせ先**
税務課 ☎82－7003
香川県後期高齢者医療広域連合 ☎087-811-1866

## 平成24年度　温浴健康教室のご案内

**場　所**　サン・オリーブ
**時間割**　13:30 ～ 14:30　健康教室（健康体操）
　　14:30 ～ 15:30　温　　浴（入　　浴）
**参加費**　無　料（ただし、飲食などは自己負担）

| 日　程 | 送　迎　地　区 |
|---|---|
| 4月5日 | 西村・草壁・安田・橘・岩谷・当浜・福田・吉田 |
| 4月19日 | 室生・二面・吉野・蒲野・神浦 |
| 4月26日 | 西村・草壁・安田・馬木・苗羽・古江・堀越・田浦・坂手 |

※4月12日はお休みします。
**申し込み先**　健康づくり福祉課国保係　☎82－7038

# 学生納付特例制度の申請について

20歳になると、学生の方も国民年金に加入しなければなりません。しかし、学生の皆さんは、収入がない場合が多いため、保険料の納付が困難な場合があります。

国民年金制度では、在学中の保険料を社会人になってから後払いできる「学生納付特例制度」を設けています。納付特例が一度承認された方については、翌年度以降、在学期間中、毎年ハガキ形式の学生納付特例申請書が日本年金機構より送付されますので、必要事項を記入のうえ返送してください。

初めて学生納付特例を申請される方、学校が変わられた方などは、住民票を登録している市区町村の国民年金担当窓口で申請をしてください。

**◆持っていただくもの**
（ハガキ形式以外の方）
学生証または在学証明書、年金手帳、認印

**◆承認期間**
4月から平成25年3月まで

## 国民年金保険料改定のお知らせ

4月から平成25年3月分の国民年金保険料額は**月額「14,980円」**です。保険料の納付先は、金融機関またはコンビニエンスストアとなっています。また、便利でお得な「口座振替」、「前納制度」もありますので、ぜひご利用ください。

**【問い合わせ先】**
高松東年金事務所
　国民年金課
☎087-861-3867
住民課住民年金係
☎82-7004
池田総合窓口センター
☎75-0557

# 平成23年度　教育委員会表彰

3月2日、町役場内海庁舎研修室において、平成23年度小豆島町教育委員会表彰が行われました。
教育委員会表彰は、教育分野に貢献またはこの1年間に優秀な成績を挙げた団体・個人を表彰するもので、今年度は7団体と18名の方に表彰状が贈られました。

## 団体の部（順不同・敬称略）

**池田小学校**
▽全日本小学校ホームページ大賞「香川県最優秀校」

**苗羽小学校音楽部**
▽ＭＢＳこども音楽コンクール音源選考会（地区大会）「優秀賞」
▽こども音楽コンクール西日本優秀校発表音楽会「優秀賞」

**池田中学校女子駅伝チーム**
▽香川県中学校駅伝競走大会兼全国中学校駅伝予選会「優勝」

**内海中学校女子テニス部**
▽全国中学生テニス選手権大会　女子団体「ベスト16」
▽四国中学校総合体育大会テニス競技　女子団体「準優勝」

**内海チーム**
▽笹川良一杯全国選抜ゲートボール大会　シニアの部「香川県代表」

**池田オリーブチーム**
▽笹川良一杯全国選抜ゲートボール大会　ミドルの部「香川県代表」

**小豆島豊栄チーム**
▽文部科学大臣杯全日本ゲートボール選手権大会「優勝」

## 個人の部

**藤田（ふじた）　真由（まゆ）**（池田小６年）
▽香川県小学生選抜陸上競技大会　走り高跳び「１位」

**佐伯（さえき）　麻実（まみ）**（苗羽小５年）
▽「赤い羽根募金箱をつくろう」コンクール「香川県知事賞」

**三木（みき）　真依（まい）**（安田小６年）
▽壺井栄賞「最優秀賞」

**東口（ひがしぐち）　聡子（さとこ）**（池田中３年）
▽香川県中学校総合体育大会陸上競技　３年女子１５００ｍ「１位」

**村上（むらかみ）　紗梨（さりい）**（池田中３年）
▽香川県ジュニア陸上競技大会　共通女子３０００ｍ「１位」
▽香川県中学校駅伝競走大会兼全国中学校駅伝予選会「最優秀選手」

**三木（みき）　菜摘（なつみ）**（池田中２年）
▽香川県中学校新人陸上競技大会　２年女子１５００ｍ「１位」

**正木（まさき）　湧基（ゆうき）**（池田中１年）
▽香川県ジュニア陸上競技大会　共通男子１５００ｍ「１位」

**濱田（はまだ）　繭（まゆ）**（池田中１年）
▽香川県ジュニア陸上競技大会　共通女子１５００ｍ「１位」

**真砂（まさご）　力（りき）**（内海中３年）
▽香川県中学校総合体育大会陸上競技　共通男子３０００ｍ「１位」

**川野（かわの）　莉沙（りさ）**（内海中３年）
▽香川県中学校英語弁論大会　暗唱の部「優秀賞」

**篠田（しのだ）　陽色（ひいろ）**（内海中３年）
▽青少年読書感想文香川県コンクール「最優秀賞」
▽全日本北道院オープン選手権大会　女子中学生の部「準優勝」

**久留島克彦（くるしまかつひこ）**（安田）
▽公民館活動に尽力し、町の社会教育の進展に寄与した。

**本田（ほんだ）　卓（たかし）**（坂手）
▽公民館活動に尽力し、町の社会教育の進展に寄与した。

**寺岡（てらおか）　修司（しゅうじ）**（馬木）
▽サッカーの指導者として尽力し、町の社会体育の進展に寄与した。

**矢田（やだ）　徹（とおる）**（中山）
▽ゲートボールの振興に尽力し、町の社会体育の進展に寄与した。

**鍛治（かじ）　四郎（しろう）**（苗羽）
▽合唱音楽文化の振興に尽力し、町の文化活動の進展に寄与した。

**松原（まつばら）　賢三（けんぞう）**（安田）
▽安田踊りの振興に尽力し、町の文化活動の進展に寄与した。

**植松（うえまつ）　忠義（ただよし）**（安田）
▽詩吟の振興に尽力し、町の文化活動の進展に寄与した。

# 広報文芸

## 歌壇　小豆島

**二月例会　詠草**

時計見て心あせれど老いの身の足は駆けらず船は出でゆく　堀内　実男
サーバーを立ち上げてマウスをクリックし花まる印よく出来ました　湯船　散人
鉢植の梅が話題の切っ掛けに訪ひ来る人の蟠り解く　伝宝千鶴子
夫の作　刺繍の額の「瑞竹」が四十年経て我が手に還る　山元　露子
コピー機に縁無き我がこはごはに使ひ成功ひとりほくそ笑む　八木　慶子
自治会の寄合ひの場で議員さんちゃん付けで呼ばれ和気の藹々　立住喜代子
絆されていやいや熟したる苺バレンタインのケーキを飾る　やぎあきら

## 内海句会

灯を消せば顔のっぺらや段の雛　木下　雪洸
疾走の単車荷台に遍路杖　寺岡ひろし
盆梅の一輪向きを正面に　炭山五十二
野晒しの単線駅や春浅し　中田　雀庵
アンテナに風見鶏ぶる寒鴉　波田　好博
受験子の身にもなってようかれ猫　三木　源次

# 子どもダンス教室参加者募集

EXILEやAKB48の曲にあわせて楽しくダンスを踊ってみませんか。ストレッチや基本の練習もするので初心者の方も大歓迎です。

**日　時**　4月15日(日)・22日(日)・29日(日)の3回　10時～11時30分
**場　所**　池田小学校体育館
**対　象**　小・中学生
**参加費**　無料
**持ち物**　運動のできる服装・体育館シューズ・タオル・お茶
※参加希望の方は、電話にて左記までお申し込みください。
**申し込み先**　寺田（☎75－1993）・亘（☎75－2966）
**主　催**　小豆島町ストリートダンス協会

# ほん大好き

小豆島町立図書館　☎82－0291

## 新刊紹介

| 書　名 |
|---|
| **（幼児向き）** |
| スイスイスイーツ |
| しょうがっこうへいこう |
| おばあちゃんのノート |
| もうどう犬リーとわんぱく犬サンうどんやのたあちゃん |
| **（児童向き）** |
| 日本の祭り大図鑑 |
| デイゴの花 |
| 忍者サノスケじいさんわくわく旅日記44 |
| 公平、いっぱつ逆転！ |
| よいこになれる！？おばけキャンディ |
| **（ティーンズ向き）** |
| シーグと拳銃と黄金の謎 |
| ここはボツコニアン |

## 新刊紹介（一般向き）

| 書　名 | 著者名 |
|---|---|
| 恋都の狐さん | 北　夏　輝 |
| クロス・ファイヤー | 柴　田　よしき |
| サイバーテロ漂流少女 | 一　田　和　樹子 |
| 猫　弁 | 大　山　淳　子 |
| 推定有罪 | 前　川　洋　一 |
| チョコレートＴＶ | 水　野　宗　徳 |
| 人生なんてくそくらえ | 丸　山　健　二 |
| 地層捜査 | 佐々木　譲 |
| 一石二鳥の敵討ち | 佐　藤　雅　美 |
| 晴天の迷いクジラ | 窪　美　澄 |
| 荻窪シェアハウス小助川 | 小　路　幸　也 |
| すぐわかる戸籍の読み方・取り方・調べ方 | 丸　山　学 |
| 巨人たちの本棚 | 久　我　勝　利 |
| ０分からの圧力鍋レシピ | 岩　崎　啓　子 |
| おとなごはんと一緒に作るあかちゃんごはん | 高　橋　若　奈 |
| 子どもが巣立つということ | 浜　田　寿美男 |
| 欲しかった“あと１時間”を手に入れる時短家事 | 本　間　朝　子 |
| 塩麹のおかず甘麹のおやつ | 坂　田　阿希子 |
| パパ１年生 | 安　藤　哲　也 |
| ０～５歳児楽しく身につく生活習慣アイデア | 鈴　木　八重子 |
| ウッドデッキのある暮らし | |
| 中高年に多い25の病気を見逃さないための健康評価ハンドブック | |
| 誰も教えてくれなかった！月15万円「年金」の使い方と運用100のコツ | |
| るるぶこどもとあそぼ！（首都圏・名古屋東海・関西） | |

## 4月の行事予定

| 行　事　名 | 日 | 時 | 対　象 |
|---|---|---|---|
| 論語を読む会 | 7日(土) | 10:00～12:00 | 一　般 |
| 古文書講座 | 14日(土) | 〃 | 〃 |
| おはなしひとみ会 | 8日(日) | 14:00～14:30 | 幼・児童 |
| わくわくおはなし会 | 11日(水) | 10:30～11:00 | 〃 |
| 伊勢物語を読む会 | 21日(土) | 14:00～16:00 | 一　般 |
| にこにこおはなし会 | 15日(日) | 14:00～14:30 | 幼・児童 |
| 読書会（内容：「百歳」柴田トヨ　著） | 15日(日) | 14:00～16:00 | 一　般 |
| おはなしを聞く会 | 毎週水曜日 | 17:30～18:00 | 幼・児童 |

## 今月のロビー展

「春到来！外へでよう」図書展
4月28日(土)まで展示・貸出しますので、ぜひご利用ください。

○「こどもの読書週間」が始まります。（4月23日～5月12日）
4月23日は「子ども読書の日」です。町立図書館では、展示・イベントを多数用意していますので、ぜひお越しください。

| | | |
|---|---|---|
| ・優良児童図書展 | 4/24(火)～5/13(日) | 町立図書館にて |
| | 6/1(金)～6/30(土) | 池田子ども文庫にて |
| ・人気図書ベスト20展 | 4/24(火)～5/30(水) | 町立図書館にて |
| ・紙パックで作る“エコ工作” | 5/6(日) 15:00～16:00 | 町立図書館にて |

# 小豆島に 認知症疾患医療センター が開設されました

平成23年10月香川県で6つの認知症疾患医療センターが開設されました。

小豆地区は小豆島病院が指定を受け、医療・介護・福祉・各専門職が連携して対応しています。

直接相談を受け付けたり、医師による鑑別診断も行っています。

**相談方法**　来院相談・電話相談・メール等での相談（来院相談を希望される場合は、事前に日時等をお知らせください）

状況により、ご自宅や事業所等に相談員が訪問してお話を聞くことも可能です。

※どの場合も、相談は**無料**です。

**相談受付時間**　月曜日～金曜日（祝祭日は除く）
9時～17時

**相談内容**　認知症に関する介護相談・初診前相談・お薬について　など

**相談対象者**　家族・本人・介護支援専門員等の関係職員　など

※どなたでもご相談ください。

**相談担当窓口**
精神保健福祉士　曽根
☎75-0579（直通）
Eメール　info@syodoshima-hp.jp
HP http://www.syodoshima-hp.jp/

## 内海病院眼科の診療について

4月から増田高央医師（常勤）による診療が始まります。

外来診療は次のとおりです。

| 曜日 | 午前 | 午後 |
|---|---|---|
| 月 | 外来 | 検査等 |
| 火 | 外来 | 検査等 |
| 水 | 外来 | 検査等 |
| 木 | 外来 | 検査等 |
| 金 | 外来 | |

受付時間は8時から11時30分となります。

## 65歳以上の方へ▼▼▼ 基本チェックリストの返送にご協力お願いします

「年をとると心身の機能が衰えるのは仕方ないこと」と考えていませんか。確かに、加齢による老化は避けられませんが、使い続けること、さらに鍛えることによって心身の機能の衰えを防ぎ向上することもできます。

そのためには、まず今の自分の心身の状態を知ることが第一歩です。小豆島町では、介護予防の取り組みとして、「基本チェックリスト」で心身の状態を確認し、「心身の機能の衰えがある」と判定された方を対象に、介護予防教室を実施しています。

住みなれた地域で健やかに、介護や支援を必要としない元気な生活を送るために、「基本チェックリスト」に回答し、返送してください。

**＊基本チェックリストとは**

自分の生活や健康状態をチェックし、介護予防に役立てていただくものです。

足腰の筋肉、食生活、口腔、認知症などに関する25項目の質問に「はい」「いいえ」で答えることで、心身の状態が確認できます。

その結果、「心身の機能の衰えがある」と判定された方には、5月以降に結果通知、および介護予防教室のご案内をします。

**＊基本チェックリストの対象となる方**

要介護認定を受けていない、65歳以上の方が対象です。

**記入後は同封の返信用封筒で、4月30日までに地域包括支援センターに返送してください。**

**問い合わせ先**　小豆島町地域包括支援センター
☎82-7006

## 元気もりもり健康食！

（小豆島町食生活改善推進協議会）

今年のテーマ　～高血圧予防レシピ～

### ちんげん菜とあさりの炒め煮

**栄養価（1人分）**

| | |
|---|---|
| エネルギー | 51Kcal |
| たんぱく質 | 1.5g |
| 脂質 | 3.1g |
| 食塩相当量 | 0.8g |

**材料（2人分）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ちんげん菜 | 140g | 油 | 小さじ1・1/2 |
| にんじん | 30g | だし汁 | 3/5カップ |
| あさり（殻つき） | 50g | A みりん | 小さじ1 |
| しょうが（千切り） | 少々 | しょうゆ | 小さじ1 |

**作り方**

① ちんげん菜は4cmの長さに切り、軸の太いところは2～3つに切る
② にんじんは型で抜くか短冊に切る
③ 鍋に油を熱し、しょうがを炒め、香りが出たら①②を入れて炒め、あさり、だし汁を加える。あくを取り、Aを加えて2～3分煮る

日本食生活協会　糖尿病予防レシピより

## 「ふれあい看護体験」参加者募集

5月12日は、ナイチンゲールの聖誕祭「介護の日」です。

内海病院では、看護への理解を深め、関心をもっていただくために、平成6年から**「ふれあい看護体験」**を実施しています。

参加された方々からは、「白衣に腕を通すと自分が別人のようで、とても新鮮でした。」とか「患者さんからの笑顔と〝ありがとう〟の言葉が心にしみ大変感動しました。」などの声をいただいています。医療・看護・介護に興味をおもちの方、患者さんとのふれあいを通して、看護の喜びや命の尊さを感じてみませんか。

**日時**　5月13日㈰　9時～15時30分

**募集人員**　5名程度

**申込締め切り**　4月18日㈬

**申し込み方法**　電話、FAXで、住所・氏名・年齢・電話番号をお知らせください。

**申し込み先**　内海病院　看護部　坂本幹枝

☎82－2121（内海病院代表）

FAX82－2125

## フットケア外来のお知らせ

**「水虫や巻き爪、タコなどの足のトラブルで困っている……」、「爪がうまく切れない、切っても深爪になってしまう……」**

などでお悩みの糖尿病患者の方のためにフットケアを行っています。

**利用できる方**

・糖尿病で外来通院中の患者さんで医師が必要と認めた方（保険適用）

・上記以外の方でもご希望の方は自費にて対応します

専門知識を持つ医師・看護師があなたの足のトラブルを解決します。

また、糖尿病の方は定期的に足を観察することで病気の予防につながります。

**問い合わせ先**　内海病院　内科外来　☎82－2121

## 小豆島町食生活改善推進員養成講座（栄養教室）受講生募集

「小豆島町栄養教室」では食生活改善を中心とした健康づくりの基礎知識を学習します。

なお、受講後は食生活改善推進協議会の会員となり、町民の健康づくりの一環として食生活改善事業の推進にあたります。

「健康づくり」について一緒に学んでみませんか。

**募集人員**　16名

**期間および回数**　6月～平成25年2月（9回）

**場所**　池田保健センター　ほか

**内容**　講話・グループ学習・調理実習・運動等

**講師**　保健師・管理栄養士・運動指導士他

**申込期限**　4月27日㈮まで

※詳しくは、お問い合わせください。

**申し込み・問い合わせ先**　高齢者福祉課　☎82－7006

## 年金相談のお知らせ

公的年金の相談や年金請求に関する手続き、また、「ねんきん定期便」の見方や「年金加入記録回答票」の記載方法など、日本年金機構の委託した社会保険労務士が無料で相談を受け付けますのでお気軽にお越しください。

**日時**　4月13日㈮　10時～15時

**場所**　池田保健センター　検診室

※年金手帳・年金証書・振込通知書などの他、ご本人であることの確認できる物をご持参ください。代理の方が来られる際には、委任状および依頼を受けたご本人であることが確認できる物が必要となります。

**問い合わせ先**　住民年金係　☎82－7004

## 病気の子どものための保育施設　内海病院　病児・病後児保育室

## オリーブキッズ

子育て中のお父さん、お母さんの強い味方です。困った時には、ぜひご利用ください。

**問い合わせ先**　内海病院　☎82－2121

# 狂犬病予防注射のお知らせとお願い

**本町が実施する平成24年度狂犬病予防注射の日程は次のとおりです。犬を飼っている方は忘れずに注射を受けさせてください。**

## 必ず行いましょう

①狂犬病予防法により、飼い犬は登録と予防注射が義務付けられています。登録は犬の生涯に1回ですが、狂犬病予防注射は毎年1回受けなければなりません。生後90日を経過している子犬には、必ず登録と予防注射を受けさせてください。

②犬の登録内容に変更があった場合（犬の死亡や飼い主の転居など）は、必ず役場の窓口へ届け出てください。

③交付された鑑札、注射済票は飼い犬に必ず付けるようにしてください。首輪などに付けておけば、迷い犬になっても登録番号から飼い主や住所を調べることができます。また、飼い犬表示シールは訪問者の目に付きやすい門扉などに貼ってください。

④犬は繋いで飼いましょう、放し飼いの犬は野犬と見なされます。万が一、飼い犬が人をかんだ場合は小豆保健所へ届け出てください。

⑤犬のフンは飼い主が始末し、みんなの町をきれいにしましょう。

⑥町中を徘徊（はいかい）する野犬が増加しています。飼い犬が不用になったからと捨てるようなことはせず、責任を持って最後まで飼いましょう。

## 問診票に記入を

飼い主の皆さんには3月下旬に飼い犬の登録内容や注射日程等を印刷した案内はがきを郵送しています。

内側には問診票が印刷されていますので、矢印の部分から開封して事前に飼い犬の状態を記入し、必ず会場に持参してください。

なお、5つの問診項目のうち一つでも「いいえ」があれば、予防注射を受けられない場合がありますのでご注意ください。

**問い合わせ先**
環境衛生課
☎82-7008
池田総合窓口センター
☎75-0557

## 狂犬病予防注射日程

**4月3日(火)**

| 場所 | 時間 |
|---|---|
| 竹生町営住宅 | 9:00～ 9:20 |
| 西村公民館 | 9:30～10:00 |
| 草壁公民館 | 10:10～10:50 |
| 草壁会館 | 11:00～11:10 |

**4月4日(水)**

| 場所 | 時間 |
|---|---|
| 安田馬場 | 9:00～ 9:50 |
| 橘会館 | 10:10～10:20 |
| 岩谷バス停 | 10:35～10:40 |
| 当浜町営住宅 | 10:50～10:55 |
| 福田公民館 | 11:05～11:25 |

**4月6日(金)**

| 場所 | 時間 |
|---|---|
| 赤坂バス停 | 9:00～ 9:10 |
| JA中山出張所 | 9:25～ 9:35 |
| イマージュセンター | 9:50～10:30 |
| 浜条馬場 | 10:40～10:50 |
| JA蒲生出張所 | 11:00～11:10 |
| 入部菱屋電気前 | 11:20～11:30 |

**4月11日(水)**

| 場所 | 時間 |
|---|---|
| 苗羽公民館 | 9:00～ 9:50 |
| 坂手公民館 | 10:00～10:20 |
| 古江庵 | 10:30～10:40 |
| 堀越バス停 | 10:50～10:55 |
| 田浦バス停 | 11:05～11:10 |

**4月12日(木)**

| 場所 | 時間 |
|---|---|
| 石場バス停 | 9:00～ 9:05 |
| 牛ケ浦バス停 | 9:10～ 9:15 |
| 小池バス停 | 9:20～ 9:25 |
| 長崎バス停 | 9:30～ 9:35 |
| 三都郵便局 | 9:40～ 9:55 |
| 南蒲野公民館 | 10:00～10:10 |
| 神浦バス停 | 10:20～10:30 |
| 吉野地区集落センター | 10:45～10:50 |
| 二生公民館 | 11:00～11:10 |
| JA池田二生出張所 | 11:20～11:30 |

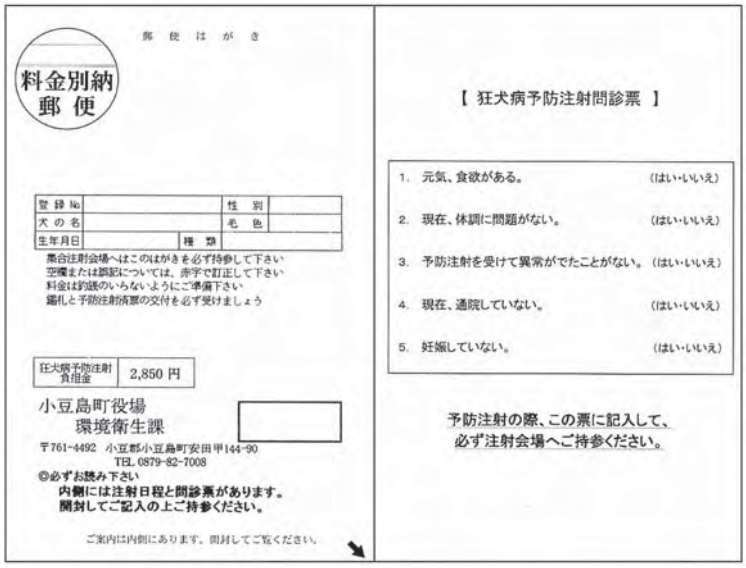
**4月15日(日)**

| 場所 | 時間 |
|---|---|
| 安田馬場 | 9:00～11:30 |
| イマージュセンター | 12:30～14:00 |

**4月22日(日)**

| 場所 | 時間 |
|---|---|
| 安田馬場 | 9:00～10:30 |
| イマージュセンター | 11:00～12:00 |

**問診票**


郵便はがき

料金別納郵便

登録No　性別
犬の名　毛色
生年月日　種類

集合注射会場へはこのはがきを必ず持参して下さい
空欄または誤記については、赤字で訂正して下さい
料金は釣銭のいらないようにご準備下さい
鑑札と予防注射済票の交付を必ず受けましょう

狂犬病予防注射負担金　2,850円

小豆島町役場
環境衛生課
〒761-4492 小豆郡小豆島町安田甲144-90
TEL 0879-82-7008

◎必ずお読み下さい
内側には注射日程と問診票があります。
開封してご記入の上ご持参ください。

ご案内は内側にあります。開封してご覧ください。

【 狂犬病予防注射問診票 】

1. 元気、食欲がある。（はい・いいえ）
2. 現在、体調に問題がない。（はい・いいえ）
3. 予防注射を受けて異常がでたことがない。（はい・いいえ）
4. 現在、通院していない。（はい・いいえ）
5. 妊娠していない。（はい・いいえ）

予防注射の際、この票に記入して、必ず注射会場へご持参ください。

# 犬の鑑札と注射済票が新しくなりました

**犬を飼う際は必ず登録を**

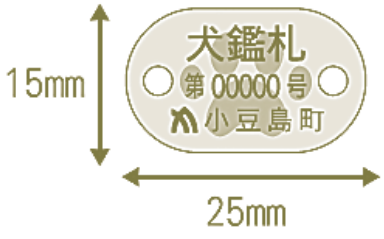
鑑札と注射済票は、登録された犬もしくは狂犬病予防注射を受けた犬であることを証明するための標識ですので、必ず犬に着けておかなければなりません。

もしも、飼い犬が迷子になったとしても、装着している鑑札の番号から確実に飼い主の元に戻すことができます。

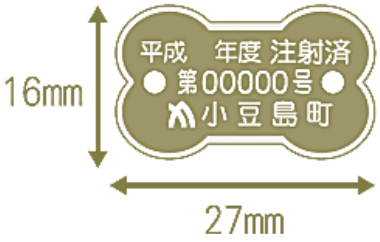
**鑑札と注射済票が新しく**

平成24年度から小豆島町で新たに登録する犬にをは新しい鑑札と注射済票（図を参照）が交付されます。すでに登録している犬はこれまでの鑑札を引き続き使用することができますが、新しい鑑札に取り換えたい場合は有料で再交付できます。

これまでの物よりサイズが小さくなり、小型犬にも着けやすくなりました。また、犬を傷つけにくいよう角を丸くした形状になっています。



犬の鑑札



注射済票

**登録と注射の手数料**

＊登録（鑑札交付）　3,000円
＊鑑札の再交付　1,600円
＊狂犬病予防注射　2,300円
＊注射済票の交付　550円
＊注射済票の再交付　340円

## 第三回醤の郷まつり

**日時**　4月29日㈰
9時　開会セレモニー（香川県産業会館）
9時30分～15時（雨天決行）

**会場**　発酵食品研究所、マルキン忠勇、醤の郷ポケットパーク、京宝亭、一徳庵

**内容**　昨年は、プレ醤の郷まつりという形で実施しましたが、今年は「第一回醤の郷まつり」の開催となります。ビンゴゲームを始め、楽しめるイベントや物産展を準備していますので、ぜひお越しください。

**問い合わせ先**　小豆島町商工会本所　☎82-1011

マルキン忠勇会場の様子

## 太陽光発電設備設置補助金のお知らせ

平成24年度以降に住宅用太陽光発電設備を設置する方に対して補助金を交付します。

支給の対象となるのは町内の住宅に太陽光発電設備を設置しようとする方、または町内で太陽光発電設備付建売住宅を購入しようとする方です。ただし、国が実施する住宅用太陽光発電導入支援対策事業補助金の支給が決定した方が対象となりますのでご注意ください。

補助金の額は、設置する太陽電池の最大出力値に4万円を乗じた額とし、上限4キロワット（16万円）まで補助します。

詳しくは、環境衛生課・太陽光発電補助金担当（☎82-7008）までお問い合わせください。

## 不動産無料相談会

香川県不動産鑑定士協会の主催により、不動産鑑定士が土地・建物等の不動産の価格や土地取引に関する相談に無料で応じる「不動産鑑定無料相談会」を、次のとおり開催します。

相談を希望する方は直接会場にお越しください。

なお、相談者が多数の場合は、しばらくお待ちいただくことがあります。

**日時**　4月6日㈮　10時～16時

**場所**
①高松会場：香川県庁東館一階ロビー
②丸亀会場：丸亀市役所一階相談室

**問い合わせ先**
香川県不動産鑑定士協会事務局
☎087-822-8785

# 小豆島町民間住宅耐震対策支援事業のお知らせ

**小豆島町内の住宅に対する耐震対策として、耐震診断、耐震改修工事に要した費用の一部を補助します。**

**補助を受けられる方**

①小豆島町内において自ら居住している住宅の所有者

②町税を滞納していない方

**対象となる住宅の要件**

①昭和56年5月31日以前に建てられた一戸建てまたは長屋建て住宅、住宅用部分が2分の1以上の併用住宅（共同住宅、賃貸住宅、社宅、別荘などは対象外）

②建築基準法の規定に基づく違反がないこと

③耐震診断や耐震改修工事を行った後、主たる居住の場として、引き続き利用すること

④耐震改修工事にあたっては、耐震診断により、倒壊する危険性があるとされたもの

⑤民間住宅耐震対策支援事業交付要綱に基づく耐震対策を過去に行っていないこと　など

**補助の内容**

①耐震診断に要した費用の3分の2の額（ただし、6万円を限度とする）

②耐震改修工事に要した費用の2分の1の額（ただし、60万円を限度とする）

**注意事項**

①所定の講習を受けた建築士が耐震診断をする必要があります。

②交付決定前に工事契約を行った場合は、補助を受けることができません。

③県内に営業所を有する事業者が施工する場合に限ります。　など

**申請受付窓口**　建設課

※詳しくは小豆島町ホームページ（http://www.town.shodoshima.lg.jp）をご覧いただくかまたは建設課管理係（☎82―7009）までお問い合わせください。

## かがわ若者サポートステーション

就職や進路などに悩む若者を支援しています。お気軽にご相談ください。

**開所日**　月曜～金曜　10時～17時　土日祝日、盆、年末年始は休館

**場所**　高松市西の丸町14―10穴吹パティシエ福祉カレッジ6F

**対象者**　15～39歳の本人または保護者等

**費用**　無料

※支援を受けるためにはサポステへの登録が必要です。

**支援メニュー**

●カウンセリング

●セミナー（コミュニケーションスキル、ビジネスマナー、パソコン、職業適性診断など）

**問い合わせ先**

☎0887-811-5388

人権・同和教育シリーズ　㉟

## 「地球環境と人権」

「人権の世紀」21世紀は、「環境の世紀」ともいわれています。20世紀は、科学技術が急速に発達し、私たちに多くの利便性をもたらした世紀でした。しかし、一方でその利便性と引き換えに、人体へ悪影響を及ぼす物質が排出され、公害やオゾンホールなどの環境破壊の問題も起こりました。21世紀は、このような地球環境の問題に取り組んでいかなければならない世紀でもあります。

私たちが生きていくためには、人類の生存に適した地球環境の保全が必要です。一方で、一人ひとりにある人権は、「人間が人間らしく幸せに生きていくための権利」です。人類が生存できる地球環境を保全することは、このような「人間が人間らしく幸せに生きていく」こと、つまり人権と密接にかかわっているのです。

また、一つの国で排出された汚染物質が、他の国で環境被害を引き起こすことがわかってきました。地球環境の破壊は、一つの国だけではなく、多くの国の人々の人権にかかわる問題なのです。これまでの社会は、経済発展を第一に考え、効率至上の経済活動を追及してきた傾向があります。地球温暖化の問題一つをとっても、資源との関わりを含め、さまざまな国家や企業の間に複雑な利害関係が山積しているのが現状です。これまでの経済効率を優先する社会ではなく、環境にやさしい社会や循環型社会が求められています。言い換えれば、経済発展だけを求める社会ではなく、地球上のあらゆる人々の人権に配慮し、多様な人々と共生する社会が求められているのです。私たち一人ひとりができることからはじめるためにも、地球環境の現状や課題についての正しい理解と認識が必要です。平成23月3月11日に発生した東日本大震災は未曽有の被害を与え、人々の暮らしは一変してしまいました。このような時こそ、「環境と人権について考える」ことの重要性はより増しているといえるのではないでしょうか。

## ス

*宝くじスポーツフェアはつらつママさんバレーボール in 小豆島*

### スター選手の技を体験

2月25、26日の2日間、土庄町総合会館で、香川県出身のバレーボール全日本男子監督植田辰哉さんや東京オリンピック金メダリスト河西昌枝さんなどバレー名選手12名の「ドリームチーム」を招いて、はつらつママさんバレーボールin小豆島が開催されました。

イベントでは、指導者を対象とした指導者クリニックや子どもたちを対象にしたバレーボール教室、小豆島のママさんバレーチームとドリームチームとの親善試合が行われるなど、参加者はスター選手との交流を楽しんでいました。

## 48

*第20回小豆島町オリーブ杯ゲートボール全国大会*

### チームが熱戦！

3月3、4日の2日間、小豆島ふるさと村で、第20回小豆島町オリーブ杯ゲートボール全国大会が開催されました。

大会は、全国から48チームが参加して行われ、高校生から80歳代の老若男女が日頃の練習の成果を発揮して熱い戦いが繰り広げられました。大会結果は、昨年の文部科学大臣杯第27回全日本ゲートボール選手権大会を制した小豆島豊栄チームが見事優勝を果たしました。

## 小

*小豆島一欽（しょうずしまかずよし）さん小豆島町訪問*

### 豆島と大槌町の絆

3月9日、東日本大震災の被災地大槌町の出身で観音寺市の土井農園で働いている小豆島一欽（しょうずしまかずよし）さんと土井農園の園主土井琢司さんら3人が、小豆島町を訪問しました。

小豆島町では、江戸時代に小豆島から移住したという伝承があり、多くの「小豆島」さんの住む大槌町への被災地支援を行っています。小豆島さんはそのお礼をかねて小豆島に来られ、塩田町長と秋長町議会議長に農園で育てたナスを贈呈し、支援への感謝の言葉を述べていました。

## 島

*第1回小豆島・寒霞渓100キロウルトラ遠足（とおあし）*

### 島路100キロを駆け抜けて

3月10日、早春の島路100キロを駆け抜ける第1回小豆島・寒霞渓100キロウルトラ遠足（とおあし）が、島内外から600名以上が参加して開催されました。

参加者は、朝5時に小豆島ふるさと村をスタートし、中山の棚田や農村歌舞伎舞台、寒霞渓、二十四の瞳の映画村などを巡るコースを思い思いのペースで景色を楽しみながら走っていました。

また、休憩地点やゴール後には、地元の皆さんからさまざまなふるまいが行われるなど思い出に残る1日を過ごしていました。

# 4月 April

# くらしの情報

## 募集 Recruitment

### 町営住宅入居者募集

**募集団地**
橘団地2―2号室
岩谷団地203号室

**募集戸数** 各1戸

**募集期間** 4月3日㈫～11日㈬

**家賃** 入居世帯の所得により決定します。

**申し込みの資格**
①小豆島町内に住所または勤務場所がある方で現に住宅に困っている事が明らかな方
②同居親族または同居しようとする親族がある方（60歳以上の方・身体に障害のある方【手帳1～4級】などは、1人でも申し込みができます。）
③申込者と同居者全員の所得を合算し、控除額を差し引いた月収額が収入基準【月収15万8千円以下】に該当している方
④町税および町が定めている使用料、手数料等を滞納していない方
⑤家賃・共益費・自治会費および敷金（3か月分）を納められる方
⑥申込者と同等以上の収入があり、町内居住者である連帯保証人をたてられる方（2名で、町営住宅に入居していない方）
⑦申込者および同居しようとする方が暴力団員でないこと

**入居者の決定**
公開抽選により行います。

※詳しいことは、建設課管理係（☎82-7009）までお問い合わせください。

## お知らせ Information

### 広めよう！みんなの活動 ―川西健雄に学ぶSNSコミュニケーション―

広報のスペシャリスト、川西健雄氏を講師に迎え、SNSを利用した地域との双方向のコミュニケーションについて最先端のノウハウが学べる講演会を次のとおり開催します。

**日時** 4月14日㈯ 19時30分開演

**場所** 小豆島国際ホテル

**講師** ㈱ビットコミュニケーションズ代表取締役社長 川西健雄氏

**参加料** 無料 ※先着150席

**主催** ㈳小豆島青年会議所

**問い合わせ先** ㈳小豆島青年会議所 ☎75―1504

## 相談 Advice

### 憲法週間記念無料法律相談

**日にち** 4月26日㈭

**時間・場所**
【高松】高松家庭・簡易裁判所庁舎1階 高松市丸の内2―27 10時～16時（受付は、9時30分～15時30分）
【丸亀】高松地方裁判所丸亀支部 丸亀市大手町3―4―1 10時～15時30分（受付は9時30分～15時）

**相談方法** 弁護士による面談での法律相談（30分程度）
※必ず受付時間内に受付を済ませてください。

**相談費用** 無料

**予約** 不要（受付順）

**問い合わせ先** 香川県弁護士会事務局 ☎087-822-3693

### 不動産無料相談

㈳香川県宅地建物取引業協会では、不動産取引に関する相談窓口を設置し、一般消費者からの不動産取引に関する相談を受けつける「不動産無料相談所」を次のとおり開設しています。
安全安心な不動産取引を行っていただくため、気になることがありましたらご相談ください。

**日時** 毎週金曜日（祝祭日除く） 13時～15時30分
（第4金曜日は弁護士相談）

**場所** ㈳香川県宅地建物取引業協会（高松市松福町1丁目10―5）

**問い合わせ先** ㈳香川県宅地建物取引業協会 ☎087-823-2300

### 遺言・相続に関する無料法律相談

**日時** 4月16日㈪ 10時～16時

**場所** 高松市丸の内2の22 香川県弁護士会館

**相談方法** 面談による相談（1枠30分以内）
※電話相談は実施しません

**相談費用** 無料

**主催** 香川県弁護士会

**予約** 必要（完全予約制）4月10日㈫まで受付

**予約電話番号** ☎087-822-3693

**問い合わせ先** 香川県弁護士会事務局 ☎087-822-3693

# 4月　くらしのカレンダー

| | | |
|---|---|---|
| 1日 | 日 | |
| 2日 | 月 | |
| 3日 | 火 | 特設人権相談所　10:00～15:00　内海福祉会館 |
| 4日 | 水 | |
| 5日 | 木 | |
| 6日 | 金 | |
| 7日 | 土 | |
| 8日 | 日 | |
| 9日 | 月 | |
| 10日 | 火 | 心配ごと相談所　13:30～15:30　内海庁舎1階 第1相談室 |
| 11日 | 水 | |
| 12日 | 木 | ポリオ予防接種　14:45～15:15受付<br>（対象児：生後３か月～90か月未満の児）<br>老人保健施設うちのみ<br>入浴サービス　豊寿園 |
| 13日 | 金 | |
| 14日 | 土 | |
| 15日 | 日 | |
| 16日 | 月 | 行政相談　13:30～16:00　池田保健センター1階 保健指導室 |
| 17日 | 火 | |
| 18日 | 水 | 行政相談　13:30～16:00　内海庁舎1階 第1相談室<br>内海病院健康教室　14:00～15:30　内海病院3階 大会議室<br>テーマ『生活習慣病について』 |
| 19日 | 木 | 1歳6か月児健診　13:30～14:15受付<br>（対象児：平成22年8月17日～10月19日生まれ）<br>老人保健施設うちのみ |
| 20日 | 金 | |
| 21日 | 土 | |
| 22日 | 日 | |
| 23日 | 月 | |
| 24日 | 火 | 心配ごと相談所　13:30～15:30　池田保健センター |
| 25日 | 水 | |
| 26日 | 木 | 入浴サービス　豊寿園 |
| 27日 | 金 | すくすくルーム　10:00～10:15受付<br>（対象児：平成24年2月生まれ）<br>ベビーサロン　11:00～12:00　イマージュセンター |
| 28日 | 土 | |
| 29日 | 日 | |
| 30日 | 月 | |

## 「瀬戸内しまラジ！」放送中

４月は、八日目の蝉や春の寒霞渓、肥土山農村歌舞伎、豊島美術館などの話題をお届けする予定です。

| | | |
|---|---|---|
| FM香川 | 周波数78.6MHz | 毎週火曜日 8:25～8:30 |
| Kiss FM KOBE | 周波数89.9または77.6MHz | 毎週木曜日 9:50～9:55 |
| FM大阪 | 周波数85.1MHz | 毎週金曜日 9:22～9:27 |

「瀬戸内しまラジ！」の番組公式ブログ（http://shimaradio.seesaa.net/）

**毎月19日は「食育の日」朝ごはん大好き 野菜大好き 小豆っ子**

## 町内の事故・火災・救急発生状況【2月】

| 区分 | 件数 | 1月からの累計 | 昨年同期 |
|---|---|---|---|
| 発生 | 6 | 10 | 8 |
| 負傷者 | 6 | 10 | 11 |
| 死亡者 | 0 | 0 | 0 |
| 火災 | 1 | 2 | 1 |
| 救急 | 51 | 120 | 121 |

## みなさんからの寄付（敬称略）

**内海病院整備基金へ**
▷上嶋マスエ（橘）
▷辰力ツヤ子（坂手）

**社会福祉協議会へ**
▷緋田　巧達（池田）
▷濵脇　繁美（神浦）

**●安田小学校へ**
▷昭和40年卒安田還暦一同

**●苗羽小学校へ**
▷昭和39年度苗羽田浦小学校卒業生一同
▷平成４年度卒業生一同

**●星城小学校へ**
▷昭和39年度草壁小学校卒業生一同
▷昭和39年度西村小学校卒業生一同
▷昭和58年度卒業生一同

**●星城幼稚園へ**
▷昭和39年度西村小学校卒業生一同

**●苗羽小学校音楽部へ**
▷黒島商店（苗羽）
▷㈱　島　一（苗羽）
▷岡田食品工業㈱（苗羽）
▷㈱サンコウフーズ（苗羽）
▷島の香㈱（馬木）
▷正金醤油㈱（馬木）
▷内海薬品㈱（馬木）
▷マルキン忠勇㈱（苗羽）
▷㈱テルシタ（馬木）
▷㈲　真　里（苗羽）
▷ヤマサン醤油（馬木）
▷㈾内海木材（安田）

## リサイクル情報

（２・３月受付分）

**【譲ります】**

苗羽小学校　男子冬制服（上・下）　120センチ程度　無償

**【求めます】**

| | |
|---|---|
| 食卓テーブル・いすセット | 無償 |
| 手さげ金庫 | 無償 |
| 苗羽小学校　女子制服一式　150センチ以上 | 無償 |
| エアロバイク | 無償 |
| Canonプリンター | 無償 |
| 草壁保育園　制服　120センチ～ | 無償 |
| 体操服（上・下）　〃 | 無償 |
| 液晶テレビ　サイズ問わず | 有償 |

役場では品物は預かっておりません。ご了承ください。

制服、体操服はリサイクルできました。ご協力ありがとうございました。

リサイクル用品の情報をお待ちしています。環境衛生課（☎82－7008）

お買い物は地元商店を使いましょう

# 小豆島を元気に！ 私の提言 No.13

## 『「量から質へ」・「物から心へ」の発想の転換を』

平井 潔さん
現住所 池田

私は昭和40年小豆島高校を卒業し、一昨年45年ぶりに小豆島に帰りました。

島に帰るたび少子高齢化の影響を感じていましたが、住んでみるとその程度は想像以上で、活力の低下は否めません。

日本も、国内総生産額（GDP）はつい最近中国に追い抜かれ、技能オリンピックや学力テスト等でも低迷するようになりました。しかし実際は過去のいづれの時代より、現在のほうがはるかに豊かな生活をしています。私の記憶の中の昭和20年後半から昭和30年台は、貧しいけれど何か将来に明るい希望を持ち、幸せを感じることができました。今の日本は、経済目標は達成したが、これを支えるべき精神的支柱を見失い、漂っているように思います。

前置きが長くなりましたが、私は「価値観の転換」・「意識改革」を提案いたします。

今一度原点に立ち返って、我々の足元を見つめなおす時ではないでしょうか。

以前から〝狭い国土・多くの人口・乏しい資源の日本〟と教えられましたが、この地政学的条件は今も変わっていません。小豆島はその典型ではないでしょうか。人口減少に伴い、以前からの懸案である町・学校・病院等の統合は、その効率性やレベルの維持向上のため避けることが出来ません。しかしコンセンサスを得るのは容易ではなく、小豆島の島民性が問われているように思います。東日本大震災の復興の障害になっている瓦礫処理の問題で、日本人の国民性が問われているのと同様です。大きな目標達成のためには、色々な問題を乗り越えなければなりません。

心豊かで安心して暮らせる環境を整備すれば、人は集まり、賑わいを取り戻すことが出来ると信じています。いまこそ〝量から質へ〟.〝物から心へ〟と転換すべき時だと思います。長い困難な道のりですが〝急がば回れ〟です。

〝大きな夢と高い志〟を持って頑張りましょう！

## 人の動き

2月11日から3月10日まで

### 【おめでた】

◎出生（8人）

| 赤ちゃん | 性別 | 保護者 | 地区 |
|---|---|---|---|
| 中野仁人（じんと） | 男 | 幸治 | 蒲生 |
| 大下湊稀（そうき） | 男 | 知晴二 | 面 |
| 真砂汐凪（せな） | 女 | 翔 | 西村 |
| 井上心結（みゆ） | 女 | 裕也 | 〃 |
| 鹿野里以菜（りいな） | 女 | 博文 | 片城 |
| 佐藤初音（はつね） | 女 | 猛 | 安田 |
| 坂口裕哉（ゆうや） | 男 | 武史 | 〃 |
| 矢田灯（あかり） | 女 | 誉素 | 〃 |

### 【ご結婚】

◎婚姻（4組）

| 氏名 | 夫 | 妻 | 地区 |
|---|---|---|---|
| 片山 | 裕樹 | 功子 | 室生 |
| 真砂 | 貴彦 | 麻里 | 草壁本町 |
| 赤岩 | 友晃 | 華代 | 馬木 |
| 高橋 | 賢伍 | 恵実 | 苗羽 |

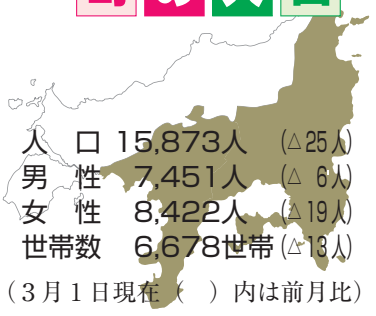
### 【おくやみ】

◎死亡（14人）

| 氏名 | 歳 | 世帯主 | 地区 |
|---|---|---|---|
| 堀田 | 勝 | 63 | 貴美枝 |
| 池田 | 範 | 38 | 道 |
| 室生 | 坂本須美子 | 84 | 保 |
| 美 | 蒲野 | | |
| 濵脇祐一 | 30 | 繁 | 美 |
| 神浦 | | | |
| 紙谷壽一 | 78 | 世津子 | 西村 |
| 松本清野 | 94 | 本人 | 草壁本町 |
| 炭山 | 勇 | 87 | 久江 |
| 片城 | | | |
| 久留島佐和子 | 92 | 本人 | 木庄 |
| 明田 | 弘 | 85 | 榮子 |
| 安田 | | | |
| 小川喜美夫 | 89 | 本人 | 〃 |
| 〃 | | | |
| 竹本 | 恵 | 76 | 郁子 |
| 〃 | 〃 | | |
| 山本金二 | 76 | 登茂子 | 〃 |
| 黒木雪子 | 85 | 豊 | 馬木 |
| 辰力 | 寛 | 92 | ツヤ子 |
| 坂手 | | | |

※掲載辞退の方は、届出時にお知らせください。

### 町の人口



| | | |
|---|---|---|
| 人口 | 15,873人 | （△25人） |
| 男性 | 7,451人 | （△ 6人） |
| 女性 | 8,422人 | （△19人） |
| 世帯数 | 6,678世帯 | （△13人） |

（3月1日現在 （ ）内は前月比）

### あとがき

（編集を終えて）

▽3月10日に行われた小豆島寒霞渓100キロウルトラ遠足。スタートは、朝の5時でしたが、朝の苦手な私は、9時頃から取材開始。車での移動でしたが、ゴールを撮影する頃には、ヘトヘトになっていました。参加者の皆さん、本当にお疲れ様でした。

この広報紙は再生紙を使用しています。

# 平成24年度施政方針（全文）

# 小豆島の元気のために、未来にむけての島づくり

【はじめに】

平成24年第1回小豆島町議会定例会の開催にあたり、平成24年度予算案並びに関連諸議案のご審議をお願いするに際しまして、町政運営に対する所信を申し述べ、議員各位並びに町民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

小豆島は、私にとって生まれ、育った大切なふるさとです。18歳で島を離れ、一昨年島に戻ってくるまでは、島の外から小豆島を見、この2年近くは、島の内から小豆島を見てきました。

一貫して変わらない思いは、小豆島の自然や人情、豊かな文化や伝統の素晴らしさへの誇りです。これほどに恵まれた小豆島が、人口減少や急速な少子高齢化、農林水産業をはじめとする地場産業の衰退などに苦しんでいるのはなぜか、どうすればこうした課題を克服できるのでしょうか。

小豆島をもう一度元気にしなければなりません。それは次代への私たち世代の責任です。小豆島の魅力、素晴らしさを次代に引き継いでいくために、何が必要なのでしょうか。

私たちは、何を守り、何を変え、どんな行動をすべきなのでしょうか。

日本全体も、小豆島が体験している人口減少と少子高齢化、国際競争力の弱体化、自立の精神の衰退など本質的な課題に直面しています。日本全体がかかえる課題の克服と小豆島がかかえる課題の克服には、共通するものがあります。この小豆島での課題の克服は日本全体の課題の克服にもつながっていくでしょう。

小豆島は、海が交通の中心であったとき、京阪神に近く、交通の要衝としての便利さと、自然の魅力、人々の粘り強さや進取の気概をもって、力強い地場産業を育て、優れた文化と伝統を築いてきました。

しかし、海の時代が衰退し、都会が発展しだしたとき、小豆島は、この流れに抗することができませんでした。もう一度小豆島が元気をとり戻すには、小豆島が持っている魅力を磨きあげるとともに、島であることのハンディキャップを克服する努力がなければなりません。

時代は大きな転換点を迎えようとしているように思います。人々は、都会的な価値観だけでなく、心をいやしてくれる自然や文化や伝統、連帯や人と人の絆、心の平穏などにも価値を見出そうとしています。

一昨年開催された瀬戸内国際芸術祭や映画「八日目の蝉」などで示されたのは、瀬戸内の海や島々に、次の時代を開く可能性があるという示唆であったと思います。

映画「八日目の蝉」虫送り
©2011映画「八日目の蝉」製作委員会
2011年4月29日全国ロードショー

社会のかかえる困難な課題を克服し、新しい時代を開く可能性がこの小豆島にあると思います。平成24年度予算案は、そのような思いで、その第一歩を踏み出すものとして編成したものです。

（総　論）

平成24年度の歳入歳出予算総額は、81億1，000万円です。

前年度比13・0％増、小豆島町発足後、最大規模の予算案です。

小豆島が未来の扉を開くことができるかどうかは、ここ数年の私たちの取り組みにかかっています。来年度予算は、そうした取り組みの第一歩です。

それができるのはここ数年です。今直ちに全力投球しなければ、できることもできなくなります。そのため、国や地方自治体で厳しい予算編成が一般的ななかで、例がないほどの積極的な予算案を編成しました。

人口減少と少子高齢化が急速に進みます。人口減少

を少しでも緩やかなものとし、少子高齢化に対応して、課題を克服する準備、施策を実行するのは今をおいてありません。

ひとつは、医療と福祉を充実することです。

ひとつは、未来を担う子どもたちの健やかな育ちを応援する環境をつくることです。

ひとつは、若者が小豆島で活躍できるよう、農林水産業、地場産業など、小豆島の素材を活かしたさまざまな産業を活性化することです。

ひとつは、大勢の皆さんが小豆島を訪ねてくれるよう、小豆島の魅力と賑わいを一層高めていくことです。

ひとつは、生涯学習などを通して、新しい絆社会を作っていくことです。

ひとつは、島のハンディキャップを克服する情報基盤の整備、防災対策などのインフラ整備を行うことです。

これらの施策を行うためには大きな財源が必要となります。小豆島町の自主財源は30％程度にすぎません。地方債残高も決して少なくありません。不要な支出は切り詰め、財政支出の効率化を図るべきであることは言うまでもありません。

しかし、ただ財政支出を抑制するだけでは、小豆島はやせ細っていくばかりです。

今なら、思い切って小豆島の体質を改善できれば、もう一度小豆島は元気になることができると考えます。

小豆島の未来のための投資が今必要です。国においても財政危機が深刻化しています。今の国の地方財政のルールが将来も堅持される保障はありません。国の地方財政ルールが守られている今のうちに、小豆島が元気になるため、この地方財政のルールを最大限に活かすことが必要です。その上で自立可能な自治体を目指したいと思います。

幸い、小豆島町には、これまでの財政効率化などの努力の成果である一定規模の基金があります。この基金のうち、24年度の施策を行うために、3億8千万円活用したいと考えています。これによる24年度末の基金残高は、新規の基金積立てもありますので、52億5千万円となります。23年度末残高に比べ、4千万円の減になります。

24年度の地方債発行額は、10億7千万円です。24年度末の地方債残高は76億5千万円、23年度末に比べ、3億4千万円の増となります。小豆島町発足以来、地方債残高を減少させることを目標としてきました。24年度は、その例外になりますが、24年度は、光ファイバ網の整備、坂手港整備などを実施するため、地方債発行が大きくなるものです。地方債残高が増加することは来年度限りとなるよう今後最大限努力します。

それでは、順次、24年度予算案の主要事項を説明します。

昨年7月、坂手港にジャンボフェリーが就航

## （医療と福祉の充実）

小豆島が元気になる突破口は医療と福祉の充実だと思います。

その第一歩が、小豆島にある二つの病院の統合です。島で心筋梗塞、脳溢血などの急性期の疾病に対応できる水準の高い医療を確保できるようになることが、島民の安心だけでなく、島の魅力を高める上で不可欠です。24年度は、新しい病院づくりに向けて本格的な取り組みを開始する年です。

このため香川県小豆総合事務所に新しい病院建設のための準備室を置き、香川県から専門スタッフを準備室長として迎え、小豆島町、土庄町からもスタッフを派遣することとしています。

また、香川大学など医療スタッフを派遣していただく関係機関、関係者と医師などの医療スタッフの確保の具体策について意見交換も進めていきます。

医療の水準の向上を図るとともに、福祉のあり方についても抜本的に見直し、人口減少と急速な少子高齢化に対応し、課題を克服したいと考えています。

地域福祉推進の基本的な考え方は次の四つです。

ひとつは、健康と地域福祉づくりは、行政だけで進めるものではなく、住民がそれぞれの役割を分担し、

内海病院の現場

住民総参加で進める必要があることです。

ひとつは、介護保険などの「公助」を基盤にして、「自助」と「共助」で、健康と地域福祉づくりを進める必要があることです。

ひとつは、公立病院の再編を契機に、現病院施設も活かした健康と地域福祉づくりを進める必要があることです。

ひとつは、若者の働く場の創出を図るとともに、将来の医療費と介護費の負担軽減を目指す必要があることです。

このような基本的な考え方に沿って、地域福祉を進めていきます。

そのために、総合的な司令塔の役割を果たす組織を役場に設けることとしています。

現場の司令塔として、健康づくり・介護予防については、地域包括支援センターの機能拡大を、地域福祉については社会福祉協議会の機能拡大を、段階的に図ることとしています。

地域福祉は、旧小学校区を福祉サービスの基本的な区域とし、区域ごとに責任者を配し、公民館、旧小学校、地区集会所、小規模多機能施設などを地区の活動拠点に、自治会・婦人会・老人クラブ、各地域のボランティア組織などが活発に活動できるようになることを目指します。

地区集会所を利用した地域福祉活動

新病院ができたあかつきは、現在の内海病院を地域福祉活動の拠点として整備したいと考えています。

医療や福祉を充実するためには専門スタッフが不可欠です。とりわけこの分野の専門知識を身につけた若者に、小豆島に戻ったり、移り住んで活躍してほしいと考えています。今後5年間で100人程度を目標に新たな専門スタッフを確保し、若者の雇用の場確保を図りたいと考えています。

今後、このような工程表のもとで、医療と福祉の充実を図っていきますが、24年度の新規施策は次のとおりです。

テレビ電話（光ファイバー）等を利用して、保健師等による健康相談や自発的な健康づくりを進めるヘルスケアシステムを導入します。

高齢者世帯や障害者で食事を作ることが困難な人への配食サービスを週1回から2回に拡大します。将来は、毎日1回200人を目指します。

若いスタッフが小豆島の医療と福祉をよくするために活躍できるよう保健医療福祉職修学資金貸付を継続実施します。

地域の自発的な活動や絆を高めるための福祉のまちづくり支援事業を継続して実施し、スキルアップを図る研修会を新たに開催します。

ごみ出しや布団干し、買い物など高齢者のちょっとした困りごとを解消するため、軽度な家事支援サービスを新たに実施します。

介護保険のデイサービスの対象にならない高齢者に、3か月の介護予防修了者のうち、希望者に継続的な機能訓練を提供したり、入浴や、食事介助、機能訓練のみの短時間のデイサービスを新たに実施します。

蒲生、三都地区で新たな小規模多機能施設が開所します。将来的には、小豆島町で6か所の小規模多機能施設の整備を考えています。

障害者福祉については、障害者が地域で安心して暮らせるよう、ケアホーム設置に向けての取り組み、障害者の働く場を提供する新規事業所の誘致、棚田での田植え、稲刈り体験などの農業との連携強化、重度障害者の島外通院に対する負担軽減、特別支援学校への通学の負担軽減などを実施します。

棚田での田植え体験

昨年末、香川県全体が、かがわ医療福祉総合特区として、地域活性化総合特区に指定されました。特区指定は、小豆島における病院の統合とこれに伴う医療、福祉の分野での取り組みについて、国がさまざまな規制緩和や財政支援を講じる途を開くものです。

特区制度も活かし、医療と福祉を充実し、小豆島の魅力を高めることで、少子高齢化と人口減少を克服していこうと考えています。

## （オリーブによる健康長寿の島づくり）

健康づくりについて、24年度からオリーブによる健康長寿の島づくりに本格的に取り組んでいこうと考えています。

小豆島は、日本でオリーブの実が結実した唯一の地であり、現在では、オリーブと言えば小豆島、小豆島と言えばオリーブといわれるような地位を確立しています。

しかしながら、全国各地でもオリーブ栽培が始まっています。

他地域に負けることがないよう、オリーブトップワンプロジェクトを立上げ、オリーブの品種改良、オリーブ検定の東京での実施などさまざまな取り組みを行っています。このような取り組みにより、小豆島のブランド力を引き続き高めていこうと思います。

来年度から、新たなオリーブトップワンプロジェクトの取り組みとして、オリーブによる健康長寿の島づくりに本格的に取り組みます。

オリーブで健康長寿の島づくりを

オリーブが健康によいことは医学的にもよく知られています。

地中海のシチリア島では、オリーブ油を毎日利用することで世界でも有数の長寿を実現しています。

日本でも、この小豆島でも、少子高齢化の最大課題のひとつは、若者の負担にのしかかる増大する一方の医療費と介護費をどう軽減するかです。その解決方法のひとつは、生活習慣病を予防することです。

生活習慣病の最大の予防策は、食生活の改善です。オリーブが生活習慣病に効果があることは医学的にも立証されています。

オリーブの国内最大産地である小豆島こそ、オリーブをもっと食生活に活用することで、健康長寿を率先して実現することができるはずです。日本人が得意な科学的なエビデンス（根拠）でもって立証しながら、オリーブによる健康長寿が実現できれば、小豆島の医療費と介護費の増大への解決策のひとつになるだけでなく、オリーブの魅力を科学的なエビデンスとともに、日本と世界に発信できます。

日本一、世界一のオリーブの島・小豆島になることができると思います。

具体的には、次のような取り組みから始めたいと考えています。

ひとつは、家庭・学校給食でのオリーブ料理の普及です。学校給食でのオリーブの全面的な活用です。小学校では、オリーブ栽培を体験し、摘んだオリーブを活かした給食が行われていますが、例えば給食での油をオリーブ油に切り替えるなど、これまで以上にオリーブを活かした給食を普及していきたいと考えています。家庭でのオリーブを活かした料理の普及徹底も食生活改善推進協議会の活動などを通して図りたいと思います。

学校給食でのオリーブの活用

ひとつは、小豆島の食材を活かした新たなオリーブ料理の開発です。小豆島高校の主催するオリーブ料理フェスティバルの開催、オリーブを用いた家庭料理普及会の開催、オリーブを用いた新しい料理の提案募集、料理の専門家を招聘してのオリーブ料理講習会の開催などを行うこととしています。

ひとつは、生活習慣病の予防による健康・長寿を実現するための医学的な根拠に基づく取り組みです。

生活習慣病は、大人だけでなく、子どもにとっても深刻な課題になっています。このため、小中学生を対象に生活習慣病の子どもたちに、内海病院の医師にも参加してもらい、血液検査と食育教育を推進し、生活習慣病を予防・克服する取り組みをしたいと考えています。

保健師・栄養士による介護予防教室を通したオリーブ料理の普及、地域住民を対象としたオリーブに親しむ講演会の実施、事業推進のキーパーソンとなる保健

小豆島高校オリーブ料理フェスティバル

師・栄養士の研修会の実施、健康テキスト「オリーブの力」の作成と各世帯配布などを実施したいと考えています。

ひとつは、オリーブを用いた料理によるオリーブ観光の推進です。オリーブレシピ本の作成、島内飲食店でのオリーブ料理の提供と推奨マークの導入を考えています。

こうしたオリーブを用いた健康長寿の島づくりを行うに当たっては、島外の最高レベルの生活習慣病や食育の専門家のアドバイスも得、内海病院の医師なども参加して、関係者が一堂に会する会議を設けて、まずは小豆島町からいずれは全島の会議を目指して、島をあげての取り組みにしたいと考えています。そして、内海病院の医師らに成果を、科学的、医学的な立場から、世界に向けて発信してほしいと考えています。

## (子育ち応援)

小豆島の最大の課題は、子どもの数が減っていることです。島全体で生まれてくる子どもの数は、年間200人を割っています。

あまりに子どもの数が少なくなったのでは、小豆島の自然、文化、伝統、地域社会などを守り、発展させていくことができなくなることが懸念されます。

にもかかわらず、小豆島では本格的な子育ち応援策が講じられているとは言いがたいばかりか、他の自治体に比べて子育ち応援策が見劣りしているように思います。

私は、「子育て」ではなく、子どもが自分の力ですくすく育っていくことも含めて、「子育ち」という言葉を使いたいと考えています。

教育と福祉の垣根を越えて子育ち応援を

子育ち応援こそ、小豆島が元気になるために、今最も必要な施策です。子育ち応援は、子どもに対する直接的な施策だけでなく、若者の雇用の場を確保する施策、若者が帰りたい島、住みたくなる島になるために、小豆島の魅力を高める施策など、総合的な施策が必要です。

そのために、子育ち応援策を、教育と福祉の垣根を越えて行うために、教育委員会に一本化し、「子育ち共育課」を設けて、本格的に取り組みたいと考えています。

ここで言う「共育」は、「共に育てる」「共に育つ」という意味です。親、教師、社会がともに子どもを育て、子どもとともに、ともに育っていくという意味をこめています。

24年度から一人ひとりのライフサイクルに応じて必要となる応援策を講じていこうと考えています。

妊娠・出産、誕生期です。妊婦にとって歯への負荷が大きく、妊婦の健康上の課題になっています。妊婦歯科検診を無料化することにしています。母子保健活動が弱体化しているとの指摘があります。役場における保健師の活動体制を見直し、母子保健活動の充実、関係機関との連携を強化したいと考えています。

乳幼児期については、子育てと社会参加の両立、子育て負担の軽減、また、子どもが将来能力を伸ばせる基礎づくりが必要です。

小豆島町では、保育所や幼稚園の待機児童は表面的にはいませんが、実態は、いろいろな面で子育ての課題が山積しています。

保健師の活動の様子

例えば、子どもが急に熱を出したとき、病院に通院し、病時保育をしてもらおうとしても、急に仕事を休むことができないことがあります。参観日や通院を乳幼児連れではできないこともあります。そんなとき、自宅までの送迎や一時預かり、病(後)児保育につなげたり、施設で一時預かりをする家庭保育サポート事業を、子育て支援団体を立上げて実施することにしています。

子育ては、親だけでできるものでなく、地域や仲間の応援が必要です。地域ぐるみで子育て応援をしている団体に助成したり、子どもが能力を将来伸ばせることにつながるユニークな子育てをしている団体や個人を応援し、その普及に努めたいと考えています。

子どもの個性、能力を伸ばす保育と教育を実現するために、関係機関と共同して子育ち応援講座を年間を通して実施し、小豆島での子育て・子育ちの質を高めていきたいと考えています。

親の経済負担を軽減するため第3子以降の保育料を免除します。

学童保育についても、4年生以降でも利用できることを周知し、利用促進と拡充に努めていきます。

幼児教育の質を高めるために、幼稚園と保育所のあり方を抜本的に見直し、将来のあるべき方向を明確にしたいと考えています。

学齢期については、小学校、中学校、高等学校で、それぞれの目的に応じた教育を子どもたちが受けられ、その個性や能力を伸ばせることが必要です。

小学校は、地域を愛する心の育成と学びの基礎をつくるところです。今の四つの小学校は、この観点から必要だと考えています。

中学校は、切磋琢磨し、勉強やスポーツなど、一人ひとりの能力を向上させるところです。この観点から、池田中学校は規模が小さく、統合を急ぐべきと考えています。

高等学校は、希望学校進学や活発な部活動など、個々の目標に向かって飛躍するところです。この観点から、小豆島にある二つの高校を一つにして、レベルアップを図ることが急務だと考えています。

昨年の夏・秋大会と連続ベスト8入りした小豆島高校野球部

小・中・高がそれぞれ本来の役割を果たしレベルアップを図る必要があることは言うまでもありませんが、小豆島の場合、小・中・高と一貫した教育の取り組みが必要であるにもかかわらず、とりわけ義務教育と高等教育に連携が十分でないために、能力を小豆島の教育で伸ばすことができず、島外の高校進学を選択する生徒も少なからずいるのが現状です。

私の経験からは、社会に出たとき、小豆島において学んだことが大きな自信と誇りになりました。小・中・高と小豆島の一貫した教育の場で学び、地域や社会で活躍できる人材に育ってほしいと思います。小豆島の魅力を高めるためにも、教育の質の向上が不可欠です。

このため24年度からは、小・中・高の先生など、関係者が交流や合同研修を通じて知識や目的、指導方法などを共有し、関係者全体の指導技術の向上を図り、長期的な視野での指導ができる体制づくりを目指します。

## （地場産業の活性化）

小豆島は、農林水産業をはじめ醤油、佃煮、素麺、オリーブなど多様な地場産業があって発展してきました。しかし、今、これらの地場産業は、嗜好の変化、原材料高騰、後継者不足などの厳しい課題をかかえています。

これから小豆島が元気になるためには、こうした地場産業が元気になることが不可欠です。そのためには各企業、各事業者の皆さんの自力の頑張りが基本ですが、行政、研究機関などを含め島が一体となって取り組むことが必要です。

産業の現場

このため企業、行政、研究機関などで構成する小豆島産業振興・環境技術会議を設けて取り組んでいます。さまざまな情報交換や研究会、講演会などを開催していますが、地域振興アドバイザーに各企業を訪ねてもらい、問題点を整理してもらいました。

そのレポートでは、ブランド力の向上、研究・技術開発力の向上、付加価値の高い商品・製品の製造、ニーズやシーズの情報把握、島のイメージアップ、健康への効果を活かした製品づくりの必要性が提言されています。

24年度予算では、この提言を受けて、研究関連機関や支援機関とのコーディネートのため、地域振興アドバイザー活動の充実、ニーズの認識やシーズ発掘のための食のマーケティング調査の実施、小豆島産品・観光の認知度アップのための特産品ＰＲ事業、商標登録等知的財産活用補助、業界の動向把握、ニーズ確認のための展示会出展補助、セミナー等研修会への参加

発酵食品研究所の研究の様子

支援などの予算を盛り込んでいます。

今後とも、かがわ産業支援財団、香川県発酵食品研究所、香川大学などの研究機関、研究者などとの連携を強化し、地場産業の活性化に取り組んでいこうと考えています。

なお、後に述べる光ファイバ網の整備、坂手港の整備なども地場産業の活性化に不可欠であり、瀬戸内国際芸術祭なども小豆島のブランド力向上に貢献すると考えています。

農業・地場産業・観光などを統括・連携できる役場の組織の再編にも取り組みます。

農林水産業に係わる新たな取り組みです。

まず、中山の棚田の保全についてです。中山の棚田は日本の原風景とも言うべきもので、そこで行われている農村歌舞伎とあわせて、小豆島を代表する魅力となっています。この中山の棚田が後継者不足などにより、維持することが困難な事情が拡大しています。

この農業によって支えられた景観や文化を次代に引き継いでいくために棚田保全の抜本的な対策が必要だと考えています。将来的には、棚田を農業として守ることができるよう、棚田の管理、棚田を活かした事業などを行う、いわば棚田の村・棚田公社とも言うべき、新たな仕組み、システムを構築したいと考えています。

24年度においては、地元自治会、水利組合などの協力を得て、遊休地の木の切り倒し、ボランティア作業用具購入、集落での検討会を実施するほか、独立行政法人農村工学研究所に棚田保全の全体構想のたたき台を作ってもらい、これをもとに棚田の村・棚田公社を具体化していきたいと考えています。

日本の原風景とも言える中山の棚田

次は、特色のある菊産地づくりです。花き栽培は、小豆島を代表する農産物です。小豆島の赤色・黄色輪菊は高品質な菊ですが、8月下旬から11月上旬は、虫害などにより、生産量が少なくなっています。

赤色・黄色輪菊の周年化を目指して、新品種試験栽培、ビニールハウス等整備、予冷庫を設置して、小豆島の特色のある菊産地づくりを応援したいと考えています。

漁業では、海苔の色落ちが課題になっています。昨年度から香川大学瀬戸内圏研究センターを中心に、内海湾での海苔養殖で栄養塩類を添加する研究を実施しています。来年度もこの取り組みを継続して行い、早期に成果が得られることを期待しています。

小豆島の地産の食材の魅力を小豆島の内外の皆さんに発信し、いわゆる農業の6次産業化の取り組みも、小豆島が元気になるために効果的です。旧来の発想でない新たな取り組みをいろいろな形で考え、応援していきたいと考えています。

菊栽培の現場

## (賑わいづくり)

小豆島は、長い歴史と自然・人・文化などの宝物にあふれています。大勢の皆さんが小豆島の魅力を求めて、小豆島に訪れてくれています。

私たちは、こうした地域の宝物に磨きをかけて、日本や世界に発信していかねばなりません。

一昨年開催された瀬戸内国際芸術祭は、小豆島の魅力を、多くの皆さんに味わっていただいたと思います。映画「八日目の蝉」も小豆島の魅力を十二分に伝えていただきました。

今年は、壺井栄が「二十四の瞳」を公表して60年、高峰秀子さんが大石先生を演じた映画「二十四の瞳」の木下恵介監督生誕100年にあたります。これを記念して、島田歌穂さんのミュージカル「二十四の瞳」の公演が行われるなど、もう一度「二十四の瞳」の意

ミュージカル「二十四の瞳」

味が静かに問われる年になるだろうと思います。

来年再び瀬戸内国際芸術祭が開催されます。今度は、小豆島が大きな舞台になるだろうと思います。来年の芸術祭を目指して、地域の力を結集して、それぞれの地域の魅力を高めていきたいと考えています。順次地域ごとの取り組みを申し上げます。

中山地区です。中山では前回の芸術祭では王さんの小豆島の家が評判になりました。次回でも王さんの作品展開が予定されています。農村歌舞伎舞台では農村歌舞伎だけでなく和太鼓などさまざまな催しが行われるでしょう。先ほど述べたように棚田に代表される中山の素晴らしい景観を保全する取り組みも一層重要になると考えています。

福田をはじめとする東海岸です。昨年の小豆島石の歴史シンポジウムは大成功でした。福田港は小豆島の京阪神との玄関口としての役割が期待されるだけでなく、そこに残された石の文化の魅力が注目されています。次回の芸術祭では重要な場所になるだろうと思います。

昨年開催された小豆島石の歴史シンポジウム

24年度には、天狗岩丁場跡への遊歩道整備、石彫シンポジウムの開催、ワークショップの実施などを考えています。

三都半島は、アートの半島として定着してきました。芸術家村の活動をはじめ地域ぐるみの活動が地域おこしになっています。次回の芸術祭でも、三都半島のアートプロジェクトが芸術祭の取り組みとして位置づけられます。

昨年開催された Story of the Island 展

24年度においても、若手芸術家の作品づくりの場を創出するとともに、芸術家との交流や作品展の開催など、芸術を素材とした地域の再生を目指します。今年の夏も Story of the Island 展を開催することとしています。

醤の郷も注目を集めはじめています。次回の芸術祭では大きな位置づけがなされることが期待されます。伝統産業の営みによって受け継がれた「醤の郷」を活かした地域づくりを進め、魅力ある地域景観を維持するとともに、その価値を高めていきます。

24年度においては、登録有形文化財維持保全活動支援、招聘作家による作品製作・展示、サイン整備を行うこととしています。

坂手地区は、昨年神戸との定期フェリー航路が復活したことにより、小豆島のみならず瀬戸内の島々の京阪神との玄関口としての役割を果たすことができるよう、地域の魅力を高め、地域活性化を目指します。

24年度は、ジャンボフェリーを利用する人々や車などの乗降の問題を解決するために、サイドランプゲート新設など、坂手港の整備を進めるほか、壺井栄生誕の地を中心に周遊施設の整備、就航1周年記念セレモニー開催などを行うこととしています。

今年は、木下恵介監督生誕100年の年です。生誕地である浜松市、松竹と協力して、生誕100年プロジェクトである「ひとつ木の下プロジェクト」を行います。

24年度においては、映画村松竹座を改修し、「巨匠木下恵介展」を開催するほか、島田歌穂さんが大石先生を演じ、島の小学生が子役を演じるミュージカル「二十四の瞳」の全国公演、映画ロケ地である城山に石モニュメントを建立するなどを行うことにしています。

秋には大相撲小豆島巡業が予定されています。小豆島出身の琴勇輝の活躍は、子どもたちに夢を与えるとともに、島の活性化にも貢献しています。

大相撲の小豆島場所の開催は、高齢者などにとって

木下恵介監督の映画「二十四の瞳」
©松竹

大相撲の琴勇輝

めったとない憩いの機会になるだけでなく、ちびっ子相撲の振興にもなります。大相撲小豆島巡業を島がひとつになる取り組みになるよう、助成することとしています。

小豆島の魅力をひとつひとつ発信するだけでなく、すべてを束ねることで、小豆島の魅力はより大きなものになります。小豆島の魅力をひとつの物語のように、世界と日本に発信していこうと思います。

### （新しい絆社会づくり）

地域の連帯と絆は、これからのキーワードです。医療や福祉の充実も、地域の連帯と絆があってこそ実現するものです。医療や福祉だけでなく、地場産業の活性化、賑わいづくり、人権が尊重され、差別のないまちづくりなど、すべての分野で、地域の連帯と絆が基本になります。

ここでは、生涯学習を通したまちづくりによる新しい絆社会づくりをとりあげたいと思います。

地域のＮＰＯなどの活動を支援する協働のまちづくり支援事業を22年度から行い、いろいろな活動がはじまっていますが、24年度からは、青少年健全育成、スポーツ振興、文化芸術振興を切り離して、生涯学習のまちづくり支援事業として、より活性化を目指したいと考えています。

協働のまちづくり支援事業
（馬木地区いやしの広場整備事業）

また、地域活動の核になる公民館活動の活性化を目指して、公民館の先駆的なスポーツ・健康づくりなどを支援する公民館活動活性化推進事業、オリーブの料理教室などのオリーブ生活推進事業を新たに行うこととしています。

小豆島の文化財産の一つに住民が上演する「二十四の瞳」があります。しばらく上演活動が行われていませんでしたが、来年の瀬戸内国際芸術祭に向けてＮＰＯ法人「二十四の瞳を21世紀に伝える会」が上演に向けての準備を開始しており、その支援を行うこととしています。

小豆島は、自然に恵まれた島です。環境の島小豆島を目指し、アピールすることも大切です。

平成20年に行われた演劇「二十四の瞳」

このため中山地区の景観保全などに努めるとともに、協働のまちづくり支援事業を活かして、地域ぐるみの環境保全活動を一層活性化していきたいと思います。

また、新たに住宅用太陽光発電の補助制度を設けるほか、電気自動車を島内の移動手段として積極的に活用していくことを考えています。

し尿処理施設については、池田地区から発生するし尿などの受け入れと環境にやさしい施設へと転換するため、大規模改修に向けた構想づくりを行うこととしています。

移住交流の推進も小豆島が元気になる上で必要不可欠です。幸い、ここ数年小豆島に移住される人が増えています。新しく小豆島に住む人々こそ、小豆島の新しい可能性を開いてくれるはずです。現に、これまでにないレストランを開いたり、オリーブなど小豆島の素材を生かしたこれまでにない取り組みをしたり、芸術活動に取り組む人などが、小豆島を変えようとしています。

こうした皆さんの活動を応援したいと思います。具体的な施策として、今後とも空き家バンクの物件確保などに努めていきますが、移住者が働く場を確保できるよう、就職相談会の開催など、ハローワークとの連携を強化していきます。

また、移住者のこれまでにない経験・知識、ネットワークを小豆島の地域おこしに活用する「地域おこし協力隊」の事業を行うこと

としています。
　小豆島に島外から移住した若者たちの知恵とパワー、情熱で小豆島に新しい地域おこしの風を吹かしてほしいと思います。島の素材や伝統などを活かした新しいビジネスの立上げ支援を新たに始めたいと考えています。
　小豆島は、もともと古来から全国のさまざまなところからやってきた人々が文化、伝統、産業などをつくりあげてきた島です。いま、再び、新しい移住者の方々に島の新しい魅力を発見し、作ってほしいと思います。移住者の皆さんとの対話に努め、その意見を町政に活かしていきます。

移住者との意見交換会

### （インフラ整備）

　小豆島の発展のためには、インフラ整備も不可欠です。新内海ダムの建設は順調に進んでおり、小豆島の治水や利水に大きく貢献することが期待されています。
　小豆島は、離島としてさまざまなハンディキャップをかかえていますが、離島のハンディキャップを克服するツールとして情報網整備が不可欠です。
　24年度に香川県の補助も得て光ファイバ網を整備します。これによって、地場産業の新しい振興、遠隔医療の拡大など新しい医療システムの構築、知的な仕事をする人材の移住交流の推進、高齢者などの見守りなど、助け合いシステムの構築、災害に強いまちづくりが可能になります。
　民設民営方式で光ファイバ網の整備をすることとしています。24年10月のサービス利用開始を目指します。
　防災対策についても万全を期してまいりたいと考えています。
　ハザードマップの整備、IP告知システムの導入、急傾斜地崩壊防止対策、蒲野大池の地震予防対策、小学校の耐震化などを行っていきます。

昨年の防災訓練の様子

### （組織再編）

　以上のような課題に取り組むに当たっては、役場のスタッフが一丸となって取り組む必要がありますが、現行の組織は旧来の考え方に基づき、縦割りになっています。
　政策課題は、横断的であり、課の壁を越えて取り組む必要があります。分野によっては、課の役割分担、名称などが時代のニーズに合致していないものもあります。
　行政組織については、本来抜本的に見直す必要があると考えていますが、現時点では分庁舎という制約があり、必要最少限度の見直しにとどめており、今後、政策テーマの進捗状況に応じて、見直していきます。
　24年度から、地域振興、健康福祉、教育など、分野ごとの部を設け、横断的な取り組みと責任ある対応ができる体制にすることとしています。
　課についても、健康づくり福祉課、高齢者福祉課、子育ち共育課など、課の目指す政策が明確になるものとしたいと考えています。
　以上、平成24年度に取り組むべき課題と考え方について申し上げました。
　小豆島がこれからも素晴らしい自然と人情、文化と伝統を次代に引き継いでいくためには、よきものを守り、磨き、ハンディキャップを克服し、よりよき小豆島にしていかねばなりません。
　ここ数年が大事です。課題の克服には、自立と共助の精神が大事だと思います。行政ももちろんできることは全力で取り組みます。
　議員各位、町民の皆さんのご理解とご支援をいただき、小豆島が元気になれるよう、島民一丸となって頑張っていきたいものです。
　小豆島の新しい物語を作っていきたいものです。
　以上、平成24年度における町政運営の基本方針と新しい島づくりに向けた予算案について、ご説明申し上げました。
　議員各位並びに町民の皆さまのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げ、所信表明とします。